

朗読劇

火垂るの墓



脚本・演出 新海百合子 (舞プロ)

2025 年

6月28日(土)

① 13:00 開演 (12:30 開場)

② 16:00 開演 (15:30 開場)

西宮市山口ホール
(山口センター内)

無料

【ストーリー】

『火垂るの墓』は野坂昭如氏の戦争体験をもとにした小説です。昭和 20 年の神戸大空襲で清太(14 歳)と節子(4 歳)の兄妹は母も家も失います。そして二人は戦時下の厳しい生活を強いられていきます。

【(株) JIB 杉原会長のコメント】

「人目はばからず涙が止まらなかった」

僕が生まれ育ったこの街の忘れてはいけない悲しい歴史

僕が生まれる少し前の、とても身近なできごと

戦争が、人の心まで変えてしまう怖さ

幼い頃散歩した香櫨園の浜辺、自然の景色、人々の想い、

情景がありありと浮かんでくるようなシンプルな朗読劇の言葉の力は

通常のお芝居以上に迫りくる説得力があります。

JIB と同じ、丁寧な手作りの舞台のあたたかさと感動をぜひ体験してください。

『火垂るの墓』の朗読劇、そして「陽なたの会」の皆さんの熱演を、

心から推薦いたします。



【小学 5 年生の児童の感想】

悲しいお話だけど、清太と節子がけなげに一生懸命生きようとするとともに感動しました。

音響照明などまるでその場にいるようなそんな雰囲気まで表現されていて本当に凄かった。

蛍がふたり一緒に時も別れの時も飛んでいた。蛍が飛ぶのを見ていたら平和を願う気持ちがあふれてきた。

【陽なたの会】

演者も、音響担当も、照明担当も、全員西宮市在住の主婦。舞台美術をはじめ、音響も照明もプロの方々に助けられてこの『火垂るの墓』を上演しています。

《平和の種》を届けたいという想いでずっと続けている朗読劇『火垂るの墓』。生の舞台をぜひご覧ください。



主催 NPO 法人シャクナゲ・子供の家

協賛 株式会社ジブ

『火垂るの墓』記念碑建碑実行委員会

後援 公益財団法人西宮市文化振興財団

西宮市教育委員会

【お申込先】

☎ 080-1423-5021 (竹田)

<http://sites.google.com/view/yamaguchihotaru>

